

研究課題名 (研究番号)	日本調剤山形大前薬局が提出したトレーシングレポートは有害事象の軽減に影響を与えたか (2025-045)
研究責任者 (所属)	伊藤 史恵 (山形大前薬局)
他の研究機関および 各施設の研究責任者	なし
本研究の目的	がん治療を行っている患者さまに対する薬剤師の服薬指導や電話でのフォローアップが、その後の治療や体調変化にどのような影響を及ぼすか調べます。また、副作用改善や治療継続に繋がった事例について考察することで、患者さまの薬物治療に役立てます。
調査データ 該当期間	2023年12月～2025年3月までの情報を調査対象とする
研究の方法 (使用する試料等)	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 対象となる患者さま がん薬物療法を受けていて、日本調剤山形大前薬局で服薬指導や電話での症状フォローアップを受けた方</li> <li>● 利用する情報 患者基本情報：年齢、性別、がん種、等 治療情報：治療内容、生じた副作用とその重症度、等 介入情報：薬剤師から医師への提案内容、提案後の副作用の転帰、等</li> </ul>
試料/情報の 他の研究機関への提供 および提供方法	他の機関への試料・情報の提供はない
個人情報の取り扱い	利用する情報から氏名や生年月日等の患者さまを直接特定できる個人情報は削除致します。また、研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も患者さまを特定できる個人情報は利用しません。
本研究の資金源 (利益相反)	本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません
お問い合わせ先	日本調剤株式会社 ホームページお問い合わせフォーム <a href="https://www.nicho.co.jp/inquiry/">https://www.nicho.co.jp/inquiry/</a>
備考	研究期間：2025年10月31日まで